

いちご 就農パッケージ

松江市は
あなたの
やる気を
応援します

松江市では、現在4名の生産者がいちごを栽培しています。
令和5年に松江いちご部会を結成し、ブランド力向上や
担い手育成に取り組んでいます。

就農まで
の流れ

就農相談

研修
1～2年

独立自営

経営
モデル

【設備投資の例】

パイプハウス	3300万円	軽トラ	120万円
作業小屋	300万円	畝立機	60万円
灌水設備	300万円	動力噴霧機	30万円
トラクター	270万円	予冷库	30万円
育苗資材	200万円		

設備投資額
約4600万円

1～2年目

土地を取得し、いちごの栽培と育苗に必要なハウスを建てます。
空き農地を活用して露地野菜を栽培します。



3～4年目

ハウスを増やしていちごの収穫量を増やします。同時に土作りや販路開拓を進めます。



5年目～

経営形態

本人+臨時雇用1名

経営規模

育苗ハウス：1棟 (3.6a)
栽培ハウス：3棟 (10.8a)

農業所得

売上：730万円 経費：410万円
所得：320万円

年間総労働時間

2226hr ※うち季節雇用251hr

※就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。

※設備投資には補助事業が活用できる場合があります。

※農業経営においては、天候等の気象条件や技術レベル、資材価格の変動等によりこれらの値は変わります。

